

岐大生がメンテナンスサポーター（MS）に！

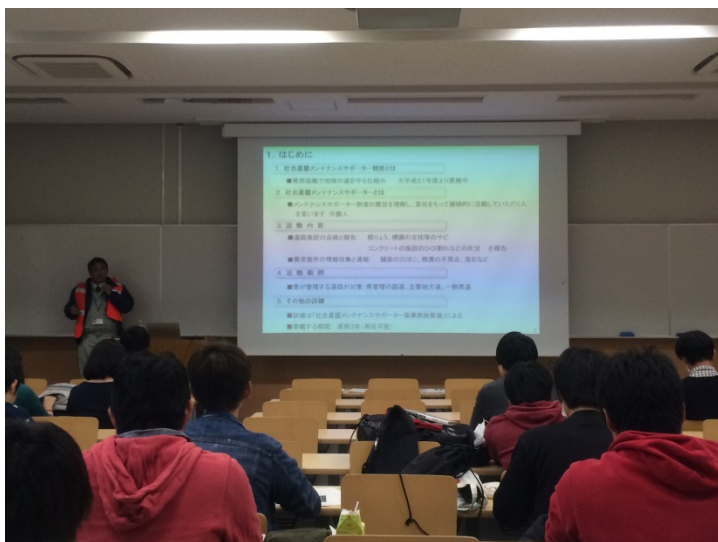
2014年11月21日（金）、岐阜大学にて、岐大生を対象としたメンテナンスサポーター（以下、MS）講習会が開催されました。

メンテナンスサポーターとは、厳しい財政状況や土木技術者不足の中、高齢化が進む社会基盤に対して、県民協働による情報収集や効率的な補修などの維持管理が必要との考えからはじまった県民のボランティア活動による道路施設の点検・報告を行うものです。2014年6月時点で、893名がMSとして委嘱されています。

講習会では、62名の学生がMSに登録を申請しました。

メンテナンスエキスパート（ME）の加藤氏が座学とフィールド実習を担当し、フィールド実習はMEの曾我氏も担当しました。

座学では、MSとして活動するときの注意点や点検する視点、報告方法を学びました。また、道路を構成する、舗装、側溝、橋りょう、トンネル、などの施設の劣化や損傷がどのように発生しているのかについても説明がありました。



座学状況 講義をみんな真剣に聞いています。

フィールド実習では、工学部棟から柳戸橋までの道路施設において、道路舗装や道路標識、橋梁の点検のポイントについて説明がありました。終点の柳戸橋は目立つ損傷箇所はありませんでしたが、排水溝の目詰まりを発見し、自分達で除去できる場合とできない場合など、MSとしての役割を学ぶことができました。

受講した学生からは、道路の点検ポイントを知ることができた、自分たちの身の回りのインフラも気にして通学するように心がけるなどの感想がありました。



街灯点検ポイントの説明風景



橋梁点検ポイントの説明風景